

「ケアプランの有料化は行わないこと」を決議することを求める陳情

(福祉健康委員会付託)

受 理 番 号 第 33 号

受 理 年 月 日 令和 2 年 1 月 22 日

付 託 年 月 日 令和 2 年 2 月 20 日

陳 情 者
.

陳 情 原 文 日ごろから、区民の暮らしと生活を守るために奮闘されていることに敬意を表します。また、私どもの活動に対するご協力に感謝いたします。

早速ですが、2020年度の介護保険制度改定論議の中で、制度見直しの焦点の一つに、ケアプランを有料化することが論議されてきました。しかし、利用料負担の観点などから、介護サービスの抑制に繋がることなどが課題となり、ケアプランを有料化することは、先送りされると報道されました。

ケアプランの有料化は、今回の介護保険制度改定議論に関わらず、介護サービスの利用抑制に大きな影響を及ぼし、如いては必要な介護サービスが利用できないことに繋がる懸念されます。

私たちは、介護や医療の現場での実践を通じて、介護を必要とする人々の生活に従事しています。そうした立場から、よりよい介護を実現するために、貴議会としても「ケアプランの有料化は行わないこと」を決議していただくことを陳情いたします。